

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

設立 昭和32年3月23日
RI承認 昭和32年4月15日
会長 宮内 榮
副会長 信太 秀紀
幹事 宮内 秀章
会計 金子 芳則

2013-2014年度 RIテーマ
「ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を」
ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES
2013-2014 RI会長 ロンド.バートン



例会日時 毎週水曜 12:30～
例会場 銚子商工会館5F大会議室
事務所 銚子市三軒町19-4
銚子商工会館内
電話 0479-25-3111(会館)
0479-23-0750(専用)
FAX 0479-25-8789
E-mail rotary@choshinet.or.jp
URL http://www.tcs-net.ne.jp/~crc

第2792号(2014年2月5日発行)

今週のプログラム

「国際奉仕の理解と実践最新情報」

国際ロータリー第2790地区

国際奉仕委員会 委員長

富 一 美 様(成田空港南RC)

前回の例会報告(1月29日)

点鐘:宮内 榮 会長

国歌斉唱

ロータリーソング:

それでこそロータリー



会長挨拶



皆さん今晚は。本日、年一度恒例の、銚子東クラブと、銚子クラブの合同例会です。銚子クラブ

が担当させて戴きますので、銚子クラブ宮内が挨拶を申し上げます。本日は講師として、はるばる2800地区、山形鶴岡ロータリークラブより、藤川享胤様にお越し頂きました。藤川享胤様は日本はもちろん世界中で活躍をしておられ、1クラブの卓話には中々来られないのは充分承知のうえで、御願いを致しました。にもかかわらず快く私たち両クラブのためお越しいただき、真に有難うございます。このことは、わが銚子クラブで一番綺麗で美しい声の持ち主、佐藤親睦委員長によるお誘いが功を奏したと思っております。佐藤直子さん有難う御座いました。又2790地区千葉西RCより地区職業奉仕委員長海寶勘一様にもご多忙の中をお越しいただき、真に有難うございます。さて、銚子東クラブと、銚子クラブは元は一つのクラブでしたが、昭和47年に初代会長網中喜一郎さん、幹事大内恭平さんと銚子クラブから、33名の移籍で誕生しました。理由はクラブ会員数が大所帯になったこと、当時の銚子は産業も盛んで、又一業種一会員であったこと等で同業者も多く、会員増強が難しかったこと等と聞いております。以来両クラブは兄弟クラブとし親戚付き合いをしております。そして両クラブの会員の皆様本日は多数ご出



第2790地区
ガバナー 関口徳雄(浦安RC)

会報委員
石毛 充、丸山泰典、堀米秀和、越川信一

幹事報告

席いただき有難う御座いました。例会終了後に、懇親会が開かれます。大いに語り親睦を深めましょう。さて、本日の講演は今から9年前(青野秀樹会長)の時にも藤川享胤様には合同例会で、講演を頂いております、このときは、ロータリーの原点を訪ねてという演題でした。残念ながら私は欠席を致しました。先日1月27日に私と佐藤直子・島田洋二郎・信太秀紀・高木浩一会員の5名で千葉そごうにて開催された地区職業奉仕委員会フォーラム藤川享胤様の講演、演題(職業奉仕の精神を学び合いロータリアンの心を輝かせよう)にお邪魔させていただきました。職業奉仕とは何か大変勉強になり感銘を受けました。特に最後のほうで、ある会員の難しい質問に対して、利益と愛(思いやる)を調和させる、と応えられました。このことは全ての職業人に通じる事柄だと思います。両クラブの委員長さんこのフォーラムの話の詳細をクラブ会員に是非報告を願いたいと思います。本日の講演(随所に主と成る)も大変楽しみにしながら会長挨拶とさせていただきます。

お客様



国際ロータリー第2800地区
パストガバナー
藤川 享胤 様(鶴岡RC)



第2790地区
職業奉仕委員会 委員長
海 寶 勘 一 様(千葉西RC)

【週報拝受】館山RC、小見川RC、銚子東RC

- 1.国際ロータリー第1・2・3ゾーン会員増強維持セミナーの御案内
- 2.米山奨学生 世話クラブとカウンセラー引き受けについて
- 3.新入会員推薦者のための認証プログラムについて
- 4.リーダーシップフォーラムの御案内
- 5.米山奨学生奨学金終了式および歓送会の御案内
- 6.ロータリーの新ビジュアルアイデンティティ
以上、ガバナー事務所
- 7.クラブ役員キット送付について
..... ガバナーエレクト宇佐見透様
- 8.銚子ライオンズクラブ50周年記念式典のご案内
..... 銚子ライオンズクラブ
- 9.「抜萃のつづり その七十三」拝受
..... (株)熊平製作所 会長 熊平雅人様

【例会変更】

小見川RC

…2月12日(水)2/9第8分区IMの振替休会

新入会員認証式



伊 東 正 博 会員

勤務先：(株)伊東商会 代表取締役

職業分類：石油製品小売

所属委員会：親睦活動委員会



「随所に主となる」

国際ロータリー第2800地区 パストガバナー

藤 川 享 胤 様

皆様今日は。ご紹介いただきました2800地区鶴岡ロータリークラブの藤川でございます。このたび銚子、銚子東ロータリークラブ新年合同例会の講師としてお招きいただきましたこと大変光栄に存じております。

前回お邪魔をさせていただきましてから丸9年の月日が過ぎ去ったことあらためて光陰矢のごとしを実感させていただいております。今回改めてご縁を結んでいただきました皆様に心より御礼申し上げます。

本日の私の演題は私が座右の銘といたしております臨濟宗の開祖であります臨濟義玄禅師のお言葉、「随所に主となる」とさせていただきます。何時、如何なる場合においても何者にも何事にも束縛されない、ぶれない己の信念を持って力の限り生きていくなればけっして真実を見誤ることはないであろう、そう言って義玄は修行者たちを諭したのです。

礼節を重んじ、仁と義を守るためには命を懸けることすらいとわなない生き方であった武士道に相通ずるものであろうかと思えます。本日、私が何ゆえにこの演題を取り上げたかと申しますと今この国の政治、経済、教育、ロータリーと、どの分野においてもこの「随所に主となる」という気概と信念をお持ちの方があまりにも少なく思えて

仕方がないからであります。

数年前、この国で品格という言葉がブームになったのは記憶に新しいことでございます。この国の、そして我々国民の品格が問われた多くの著書が出版されました。

ブームでありましたから、芭蕉の言葉を借りるとすればこれは一時流行であります。私はこの品格の追求こそこの国も個人もいわんやロータリアンは尚更に不易に追い求め続けなければならない「随所に主となる」ための大事な要素であろうかと思っております。そしてこの追及をおろそかにしたときこの国はそしてロータリーは取り返しのつかないところまでいってしまうのではないかと危惧をしてやまないのです。

3年前の11月私はこの品格について対照的な二つの出来事を経験いたしました。

その一つはブータンのワンチュク国王夫妻の新婚旅行を兼ねた来日でありました。短い期間でありましたが在日中に若い国王夫妻が示された気品、謙虚さ、思いやり、さりげない気配りは実に見事でございます。お二人の立ち振る舞いにそしてあの素敵な笑顔に私たちはどれだけ心を和ましていただいたことであらうでしょうか。

それと同時に人間にとって本当は何が一番大切で幸せなのかをさりげなく教えていただいたような気がいたします。それに対してその国王夫妻を歓迎する宮中晩餐会を欠席した当時の4人の閣僚の品格のなさは実は彼らの問題ではなく今のこの国の品格そのものを物語っているような気がしてならないのです。

欠席した理由はそれぞれ皆さんがあれこれ言い訳をなさっておられましたし今更問い詰めようなどとは毛頭考えておりませんが、どうしても私がいまだに腑に落ちないのはあの閣僚達はアメリカ、ロシア、中国、イギリス、フランス、ドイツなど俗に言う大国からみえられた国賓に対しても同じ態度をとっていたのでありましょうか?という疑問であります。彼らがそれらの大国からこられた国賓に同じ態度で接したと仮定致しましょ

う、ブータン国は勿論なさいませんでした。これらの大国の大使館から彼らの行動に対して即座に猛烈な抗議をされたとき、彼らの首はあの時繋がっていたでありますか。それともそれは内政干渉だと突っぱねることが出来たでありますか。

あのレベルの政治家が現在の政治の舞台では一時ではありましたが「随所に主」であるべきこの国の政治のリーダーといわれていた人たちではありません。ただ私どもも心しなければならぬことがございます。それは福沢諭吉翁が言われたその国の政治家のレベルは実はその国の国民の文明のレベルに比例するという戒めであります。

もう一つのそれはプロ野球読売ジャイアンツのドタバタ劇でありました。所詮権力争いですから双方に言い分はあろうかと思いますが、葉巻やパイプをくわえながらホテルのロビーを闊歩し、少なくとも公衆の面前では己が権力を誇示せんがためでしょうか謙虚さのかけらなど微塵も感じることも出来ない振る舞いをなさるあのお方がこの国のマスコミのドンであり政治の世界では自他共に認めるフィクサーであることに幻滅と恥じらいと嫌悪感を感じるのは私だけではありませんか。たとえ法廷闘争に勝ったとしてもそれが彼の品格を上げるとは決して思えないのです。しかもそれらの行為に対して寄らば大樹の陰を決め込み、厳しいコメントすら出せないでいる、いつもなら権力に噛み付き庶民の味方のように振舞っているこの国の良識の府となるべきマスメディアの自負心とやらはいったいどこに消えたのでありますでしょうか。「随所に主となる」気概の喪失でありどっかのテレビ番組流に言えば双方に喝であります。品性がなくただ威張り散らしている哀れなしかし巨人なるあの老人がこの国の将来を担う子供たちの目にはどう映っていたのでありますでしょうか。

ロータリーの世界では政治の話はしてはならないとよく言われるお方がいらっしゃいますが私は決してそうとは思っておりません。各業界のリーダーであられるロータリアンが政治だけを別扱い

にして懇談することなど不可能に近いことだと思います。大いになさってよろしいかと存じます。ポール・ハリスはロータリアンの政治活動を禁じたのではなくクラブが一丸となって行動したり、クラブ内でロータリアン同士が相反目しての政治活動を憂慮したのだと思います。現実にはこの国にはそのことが理由でクラブ内にしこりが残り解散を余儀なくされたケースが意外と多いのであります。

さて1997年13万人まで増強されましたこの国のロータリアンは今年度9万人を割っておるのは皆様すでにご承知の通りであります。

ロータリーが上意下達的に会員増強の大キャンペーンを張ったのはこれまでに大きく分けて2回ございました。1990年前後、会員数が100万人前後に達したとき、2005年ロータリー100周年をむかえる直前、会員数150万人をターゲットに掲げたときでありました。

しかしながらいずれも失敗に終わりました。しかしRIの官僚はこの失敗に懲りず、すきあらばあらたにこのキャンペーンを必ずしてくるであります。と私は言い続けてまいりました。

彼らの筋書き通り前年度のRI理事会は2015年まで会員数130万人にしようというアドバルーンを上げました。田中作治RI会長年度の前年が初年の年でありました。

この国は勿論田中さんのお膝元でありますから1万人の会員増強の要請が下りました。しかもその作戦名はサクセス・ジャパンと名づけられたのです。

それだけだったらまだしも許せるのですがなんとこの作戦名はサクセスのサクとジャパンのジをもじってサクジ作戦と名づけられたのです。上手い語呂合わせでしょうと自慢げに仰るシニアリーダーのご発言を聞いて驚く以上にあいた口がふさがりませんでした。権力者に尻尾を振りながら近づいていくリーダーが多い組織に明日への希望の光は望めないと困惑さえしております。

これは前年度のRI理事、RI会員増強在日委員、3人のRCの連名で日本の34地区のガバナーに通

達されました。もしこのような愚かな作戦で1万人の会員増強が達成されたら私は静かにこの組織から離れようかと思っておりましたが結果はどうでありましようか。上からの指令で本物の会員増強など出来るはずがない、これは私の相変らぬ信念であります。会員選考委員会が機能していないクラブにだれがステータスを感じて入会などするでありましようか。魅力のない昼食クラブにだれがプライドを持って会員になどなるでありましようか?ロータリーはお楽しみクラブや仲良しクラブだけであろうはすがございません。それだけだったら地域の良質といわれる専門職務者や職業人が高い会費を払ってまでクラブに残る必要がどこにあるでありましようか。

会員増強のキーワード、それは皆様が皆様のクラブにどれだけ誇りをもっておられますかであり、皆様がクラブの仲間にごどれだけ深い友情と信頼を感じているか、煎じつめればこの2点に尽きるのではなかろうかと思っております。会員増強は確かに組織の世代交代を含む組織運営にとっては大切なことでありますが、人頭分担金によるRIの増収を図るためにすることを第一義にしたり、会員の資格条件のハードルを下げれば下げるほど会員増強が達成できると考える官僚的発想から遅まきながら今こそロータリーは卒業すべきであろうと思っておりますが前年4月に開催されました規定審議会の推移をみていますと残念ながらそれを現在のロータリーに求めるのは不毛のこのように思えて無念であります。

実は私は全国各地で現在のロータリーを危惧する発言をいたしてまいりました。給料をもらいながらもけしてロータリーを愛しているとは思えないエバンストンの職員に母屋を取られて振り回されている俗に言うシニアリーダーの皆様のご行動を憂えているからであります。

それを聞いておられたある地区のリーダーの一人が藤川さんはロータリーでの出世を諦めたのかなと発言をなさったそうではありますが、はなから出世などする気持ちなど毛頭ございませんので

今日も本音でお話させていただきたいと思っております。

下げ止まりの見えない会員減少の理由はいろいろあるかと思えます。会費の問題、女性会員の問題、枠にはめられた組織に入ることに消極的な若者の感性の問題、Eクラブの問題など多様でありましようが、私が思うロータリアンの底の見えない減少の最大の理由、それは現在のロータリーに権力に阿ねず、わが身を律し他のロータリアンの模範になるべくロータリーの真のリーダーの欠如、それが一番大きな理由ではなかろうかと思っております。いや、ただのリーダーではありません。リーダーシップを兼ね備えたロータリーのリーダーのことです。

リーダーとリーダーシップ、これは言葉としては似ておりますが実は中身が根本的に違うのです。

リーダーとは役割として着かねばならないただ単なるポジションに過ぎません。クラブ会長、会長エレクト、クラブ幹事これは役職に過ぎませんよね。地区ガバナー、ガバナーエレクトもまさにリーダーというポジションではあります。

それに対してリーダーシップとはポジションに関係なく周りの人々を巻き込んで掲げた目標に向かい、時には厳しく、時には励まし皆を引っ張っていく力、資質をいうのであります。会長がこのリーダーシップを兼ね備えれば名会長と言われるでありましようし、ガバナーがこれを発揮すれば名ガバナーになることを疑い無しであります。ガバナー補佐しかり、地区委員長しかりでありましよう。

4年前この国の政治リーダーはどなたでられましたか?

そうですあの宇宙人でありました。確かに鳩山さんがリーダー、総理でありましたが、鳩山さんにリーダーシップがありましたか?と尋ねられた時、イエスと即座に答えられるお方はどれだけおられるでありましようか。リーダーシップのないお方がリーダーになるとその組織はどうなるか、それは私どもが実体験した真実であります。クラ

ブでしかりでありますし地区しかりであります。勿論RIとて例外ではございません。

ではリーダーシップを兼ね備えた随所に主となるロータリアンになるための必要条件とは何でありましょうか。

一つは使命感の強さであろうかと思えます。私が思う使命感の基それは誠意、決断、勇気、融和であります。誠意とは情熱につながります。積極的にやる気があるかどうかです。ロータリーの場合ロータリーを好きかどうか？この1点に集約されると思えます。先の大戦中、ロータリーは軍部によって解散を命ぜられました。

しかしながら地下にもぐりながらも水曜会、木曜会、などと名称を変えてまでもぎりぎりまでロータリーのともし火を守り続けたのはなぜでありましょうか？特高に捕まるかもしれないという恐怖心が常に付きまとっていたでありましょうか？何が彼らをしてそこまで行動させたのでありましょうか？

あの大変な時代だからこそ信頼できる仲間を週1度、一目でいいから会いたい、一途なる友愛の情、仲間意識なくして彼らにそのような行動をさせたでありましょうか。書経の一説に「官に用いられず民間にうずもれている有能な人物」という意味の野に遺賢なからしむという言葉がございます。時代を超え、年齢の差にこだわらず素晴らしき友に交わることを強調されたのであります。ロータリーに今必要なのはこの遺賢の人物であります。遺賢の集いしクラブには黙っていても遺賢が集まってくる、私はそう信じております。

クラブの例会に出席することを義務だと思っいらっしゃいますか？

それともロータリアンだけに与えられた特権だと思っいらっしゃいますか？

そこがたかがロータリーと考えるロータリアンとされどロータリーと受け止めるロータリアンとの大きな分岐点になろうかと思えます。ロータリーの世界にいればあのお方様に会えるこれがロータリーの原点の一つの友愛でありクラブ奉仕の要

であろうかと思えます。

次にあげるのは決断と勇気であります。皆を引っ張っていく力を有することであろうと思えます。そのためにはまずロータリアンは言い訳をしないということをご心得いただきたいと思えます。己に甘く他人に厳しいお方はまず最初に言い訳からスタートいたします。随所に主となるロータリアンはこれだけはやってはいけないことだと肝に銘じていただきたいと思えます。

次にロータリアンが心していただきたいところ…それは落とすところをご心得ということでありましょう。クラブのために如何に融和を図るかであります。ポール・ハリスがこんなことを言っております。

意見の異なる事柄に結論を出そうとしてはならない。そのご褒美は友愛というかけがえのない宝物である。

私の大好きな彼の格言の一つであります。私どものクラブは今年55周年を迎えますがいつの間にか私はクラブで1番古い会員になってしまいました。多くの皆さんからパストガバナーといても大切にさせていただいておりますがクラブにもちょっぴり意見の合わない苦手なお方もいらっしゃいます。

でもそういうお方はほとんど間違いなく私のこともあんまり好きではないんだらうと受け止めておるのです。ですから私はお酒つきの夜間例会の席などではこういうお方に最初にお酒を注ぎに行くのです。

なぜならロータリーの例会はウィリアム・ロビンス元RI会長が仰った人生最高の修練の場であることを信じて疑わないからであります。リーダーは率先して皆さんを引っ張って行く力も必要であります。反対の落とすところをご心得ることも大切なことであろうと思えます。組織が衰退の一途をたどり始めたとき原点に戻れ、は通説であります。がさすればロータリーの場合、原点に戻れとは果たしてどこに戻ればいいのかでありましょうか。皆様はどこに戻れば良いとお思いですか？どうぞ

ご遠慮なく!!ロータリーは多様性を認めますからこれだけが正解という答えはないのであります。1905年2月23日、弁護士のパール・ハリス、石炭商シルベスタ・シール、鋳山技師のガスターバス・ローア、洋服商のハーレム・ショーレイの4人でスタートしたロータリーは瞬く間にその裾野を広げ、翌年の1月にはシカゴロータリークラブの定款が制定されるにいたりました。

2条からなるこの定款は下世話な言葉で申せば1条は仲間で商売をうまくやりあってお互い儲けようじゃありませんかであり、2条は皆さんたまには女房抜きでゆっくり楽しもうではありませんかであったと思います。つまり互惠取引と親睦そのものでありました。だから当時のシカゴRCのパンフレットに、会員相互の取引の義務・原価取引の原則・統計委員への取引の報告が義務づけられたのは当然でありました。弁護士ならパールに、洋服ならハーレム・ショーレイにという具合であります。

だからこそ会員の資格条件のなかに1業種1会員の原則が護持されたのでありましょう。ところがご承知のお方もおられるように同年4月ドナルド・カーターの入会騒動が起きました。「会員以外の人々に何か利益になることをするクラブには将来性があるがこのクラブにはまったくそれが感じられない」そう言って入会を拒否したあの騒動であります。そこでパール・ハリスも自分たちだけが得をするクラブからの脱却を決意し、ハリー・ラグラス等当時有力なメンバーたちの反対を押し切って12月に定款を変更し第3条としてシカゴ市民の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広めること、これを追加したのであります。これがロータリーの社会奉仕の原点であり、翌年シカゴ市に公衆トイレを寄贈し、ロータリーでの社会奉仕という概念の母体になったといわれておるのは皆様ご承知の通りではありますが本日私はここに戻ろうとは思いません。私が戻るとするならば1927年ベルギーのオステンドで開催されました国際大会で4大奉仕が初

めて類型化され「職業奉仕」という呼称が正式に与えられ、「職業奉仕はロータリアンがそれぞれの職業を通じて他の人々に奉仕し、かつ高い道徳的水準を保つことを奨励します。」と宣言されたところに戻りたいと思います。なぜならこれこそロータリーの職業奉仕の理念として受け入れられ、アーサー・シェルドンが提唱したロータリーの哲学の真髄、職業奉仕理論そのものだからであります。私は深川先生や田中毅さんのように優れたシェルドンの研究者ではございませんが私が理解している彼の職業理念の根本は職業人の目標は「自らの事業を継続的に発展させること」にあるかと思えます。継続的に発展させる、ここがミソ、つまりシェルドンの職業理念の生命線であろうと思えます。そのために必要な経営学、販売学、特に人間関係学などを積極的に学び自らの利益を最優先せずに自分の職業を通じて地域社会の人々に何かのお役に立ちたいという信念さえ貫いていけば「どんな職業でも必ず成功する。」それが「He profits most who serves best」「最も多く奉仕するもの、最も多く報われる」ロータリーが掲げる第2の標語に通じるものでありました。それは近江商人の、「売り手よし、買い手よし、世間よし」の三方良しの精神に共通いたします。しかもシェルドンは奉仕の理念を説いただけでなく理念の実践を促したのであります。つまり顧客の満足度を最優先して、自らの職業を通じて他人に奉仕させていただくという信念さえぶれなければだまってもリピーターと新規顧客を獲得でき継続的な事業の発展に繋がる、これがシェルドンの奉仕理念の根幹であります。顧客の満足度を最優先するとはCSでありますよね。

この言葉は1970年ジョン・グッドマンが最初に使ったといわれておりますがロータリーはそれよりも60年も早くこの経営方針を実践していたのであります。

一昨年、鹿児島に招かれ、お話をさせていただくご縁をいただきました。鹿児島に行く度ごとに私には訪ねさせていただく場所が一つあるので

す。知覧という町であります。戦争の末期、神風特攻隊員が帰ることを許されずに旅立っていったあの航空基地があったところでもあります。

その記念資料館に保存された、命を賭してこの国を守ろうとした20歳そこそこの特攻隊員が両親にあてた最後の手紙を読ませていただくたびに、目頭が熱くなるのを禁じえないのであります。果たして今の私たちは、今のこの国は彼らが命をかけて守ろうとしたにふさわしい国なのでしょうか？国民なのでしょうか？そう自分自身に問いかけずにはいられないのです。

最近私はしみじみ思うときがあるのです。いつごろからか私たちは私たちの祖先が大切にしていたとっても大事な心をどっかに置き忘れては来なかったかと。そしてその大切な日本人の心とは果たしてどんな心であったのかと。皆様はその心とはなんだと思われますか？イジメと言う問題はこの30数年この国の大きな社会問題になってきております。イジメを苦に自らその命を絶ってしまった子供の胸のうちや残された家族の無念さを思うと胸詰まる思いを禁じえないのは私だけではないはずです。

では他の先進国にはこういったイジメはないのでしょうか？勿論あるのです。ただこの国のように大勢の子供が一人の子供を集中砲火的にイジメたおすということはまれなのです。

なぜならそれをやったら他の子供たちが許さないのです。Shame on you!!恥を知れ!!そう言って。今この国の私どもが忘れかけている日本の心。私が高げるとすればそれは「恥をしれ!!」であります。先年末から食材詐称、虚偽表示の問題がマスコミをにぎわしております。

高島屋さん!!おたくまでも？

くろねこ大和あんたもかいであります。恥を知る文化の消失。それこそが私が「随所に主となる」ロータリアンになるために必要な忘れかけている日本の大事な心であります。この国の恥を知る文化の消失は逆に嘲笑文化を生み出しました。

現在テレビをつけるとどこかなチャンネルに必

ずと言っていいほど芸のない芸人がオンパレードで出演しております。

人をどついたり、たたいたり、人の恥部をばらしたり、噂話に終始したりどこが面白いんだと思うギャグを連発したり、しかも困ったことにこれだけ毎日くだらないギャグ漬けになりますといつの間にかまともな人々のほうが彼らのお粗末な芸風や日本語とは思えない日本語らしきものを理解しないと世の中のスピードに乗り遅れてしまっているのではなかろうかと言う錯覚すら覚えてしまうのが今日のこの国の喜劇ではなかろうかと思えます。まさに朱に染まれば赤くなるであり赤信号皆で渡れば怖くない発想ではあります。このような国民が世界の人々から信頼と尊敬など得られるでありましょうか？世界で一番最新のそして一番精密なコンピューターに21世紀生き延びるべき素晴らしい人間像とは果たしてどんな人でありましょうか？という質問をいたしました。機械であるコンピューターはこれにどんな答えを出したとお思いですか？

なんとコンピューターはこう答えたのです。それは思いやりがあり、分別を持ち、他に譲る心を持った人です、と。

思いやりがあり、分別を持ち、他に譲る心を持った人、このような人を私達の世界では仏様のような人だと表現いたします。損得の判断をするとき自ら望んで損をとる必要はございませんがはじめから損をすることを覚悟して生きる決心をなさっておられるお方を仏様と言うのです。

つまり仏教で云う仏とは損を覚悟しても恥をかく生き方だけはするまいぞ!!と自分に強く戒めて実践されておられるお人のことであります。恥をかくということは誰に対してかくのでしょうか？勿論他人にではございません。己の心にかくのであります。世界最新のコンピューターは人間にとって必要不可欠なこととして思いやり、分別、他に譲る心をあげましたが、仏教では仏になろうと精進している人に邪魔をする三つの毒として貧、瞋、痴、むさぼり、怒り、愚痴、言い訳の心をあ

げるのです。2500年前から脈々と続く仏教の教えと現代の最新のコンピューターの答えがこんなに類似していることに私は驚愕の念を持っておりません。それでは恥知らずの生き方をしないためにはどうしたらいいか、コンピューターの答えを検証してまいりたいと思います。人生の中で失敗したり転んだりつまづいたりする事はいっぱいございますがそれは決して恥ずかしいことではありません。恥ずべきことがあるとするならばその時に歯をくいしばってでも立ち上がろうとする努力と気力を捨て去ることあります。

でも長い人生には辛いときがありますよね。もう立ち上がれないと思うほど落ち込むときだってありますよね。そんな時、心の友の思いやりと気配りはどんなに心強い支えになってくれるでしょうか。

私どもの世界で心から信頼し生涯を通じてお付き合いいただきたいと思う心の友を法律の法に友達の友を添えて法友と申します。仏教の教えを縁に結ばれたという友達と言う意味です。この法友と同じ発音をする英語と日本語があることに気づきました。英語のそれはFor youと包優 貴方のために目一杯の優しさで包み込む、この法友の心の支えは何者にもまして有難い一言に尽きます。ところが私が敬愛する詩人の坂村真民さんはこんな歌を詠われておられるのです。

悲しみは皆書いてはならない。

悲しみは皆話してはならない。

悲しみは私たちを強くする根。

悲しみは私たちを支える幹。

悲しみは私たちを美しくさせる花。

悲しみはいつも枯れさせてはならない。

悲しみはいつも湛えていなければならぬ。

悲しみはいつも噛みしめていなければならぬ。

”悲しみはいつも噛みしめていなければならぬ。”ここがポイントなんですよね。

辛いこと悲しいこと、いやなことは忘れたいです。誰かに訴えたいのです。誰かに慰めてもらいたいのです。そうだその通りだよと言ってもら

いたいものであります。でも真民さんはそれをちょっぴり否定するのです。悲しみこそ人間にとって大事な宝物だ。悲しみと共に生きてこそ人は真の成長が出来るのだと。人を思いやる心のやさしさのベースは悲しい心の全面的な受容だといわれるのです。いつの間にか悲しみの心が相手を慈しむ心になっていくというのです。

二番目の分別を持つ。分別を持つ、それを私はフェアに生きる、つまり人様に後ろ指を指される生き方だけはしないということだとおもっております。人の見てないところでどれだけフェアに生きる事が出来るか。それは恥であることを恥であると受け止められないと出来ない相談であります。しかもフェアに生きることはその人のお金や地位などにはかえられない信頼というとても大事な財産を造ることになるのです。

私の好きだったテレビ番組にみのもんたがナレーションをつとめたプロ野球珍プレー、好プレーという番組がございました。

この番組に必ずといっていいほど登場していたある選手がいました。彼はデッドボールではないのにあたかもボールが当たったような演技をしてデッドボールだと主張しまくったのです。ときにはアンパイヤーの誤審を誘いまんまと一塁ベースを勝ち得、得意げに塁上に立ったその選手の顔を見ながらなんと恥知らずな男だと思っておりました。当たってもいないのに痛さにこらえて転げまわ迫真の演技をみのもんたはこれぞプロの技と持ち上げておりましたが私は不愉快千万でありました。

現役を引退したこの選手があるチームの監督になりましたが私は一年でだめになるであろうと確信しておりました。案の定その通りになりましたが何故私は彼が一年でだめになると思ったか分かりますか。

それは彼の野球道がフェアでなかったからです。もともと野球をする資格などなかった恥知らずな選手だと思いましたし何よりも野球の神様がこのような選手を絶対に許さないと思ったからです。神様が登場するまでもなくそのような監督に

選手が信じてついていかなかったのだと思います。フェアに人生を歩んでください。誰かがどっかで必ず見ているのです。いや例え誰も見ていなかったとしても皆様の大事な心、そうです皆さんの自己がしっかりと観ているのですから。疾風に勁草(けいそう)を知る。激しい風が吹きわたった後、初めてどの草が本当に強かったのか、困難に遭遇してみて、初めてその人の節操、意思の堅固さがわかる。美味しいものが目の前にちらついたときその人の本心が初めて分かるという後漢書の一節「疾風に勁草を知る。」心したいものであります。

三番目の他に譲る心を持つ。どれだけ多くの人に支えられどれだけ多くの人々の犠牲の上に成り立って私たちは生かされているのかと考えたことがございますか？どんなに才能があっても他に譲る心を持たない人は独りぼっちになることを心してくださいね。「ウサギと亀」という童話がございますよね。石川 洋さん。遅れたっていい、寝ているウサギさんを起こしてあげられるそんな亀さんに私はなりたいな。

これは人生の敗北者の叫びではございません。むしろ恥を知っているお方の人生感であろうと思います。

ロータリーの会員は2種類に分けられます。専門職務者と職業人であります。英語で申せば Profession と Business であります。この違いはなにか？ Business は応分なる利益の追求を認めます。それに対し Profession は利益の追求をしないのが原則であります。

私の仕事で申せば布施を求めて法を説くのではないことを自覚することです。利益の追求をしないかわり私どもが得るもの、それは信頼と尊敬であります。

6年前、お寺のお檀家さんで私が心からお慕っていた一人の女性が静かにその生涯を閉じられました。清水 博子さん 87歳。清水さんのご主人は60年前、戦争で受けた怪我が原因で亡くなりました。お二人の間に出来たお子さんは男3人・

女2人の計5人。8歳を先頭に1番下は当時8ヶ月の乳飲み子が残されました。

いまから約60年前、昭和30年頃鶴岡で女手一つで5人の子供を育てることは並大抵の苦労などという言葉を安易につかえないほどどんなにか厳しく辛いものであったかと思えます。この子達を連れて何度主人のところにまいろうと思ったことでしょう。でも出来ませんでした。何よりも主人が許してくれないと思えました。

今思えば、方丈様、頑張っただけで本当によかったと思っております。不思議なものです、辛かったことなどあんまり思い出せないのです。私の口から申せば親ばかりになりますが5人の子供たちも夫々思った以上に立派に育ってくれましたし、お陰様で10人の孫にもめぐまれました。あの時5人の子供をつれて主人のところに行っていたらこの孫たちにあえなかったと思うとご縁の有難さをしみじみ思わずにはられないのです。

14年前喜寿のお祝いに招かれたとき笑いながらこんな話をしてくださったのです。お寺にもよくお参りくださいました。私の記憶ではご主人の命日にお参りを欠かしたことは一度もございませんでした。私は方丈様の追っかけをさせていただきますと冗談を言いながら私のお寺での行事のときは勿論、地元や県外で行う私の説教や講演にはどこかで開かれたのか時々顔を出されておられました。

8年前、その清水さんのお寺へのお参りがしばらく途切れしました。東京にいる娘さん夫婦のところにでも行っておられるのだと思っておりまして2・3ヶ月してちょっぴりやせられた清水さんがお寺に参られたのです。方丈様、しばらく病院に入院をしておりましたがやっと退院をさせていただきました。ガンだそうです。余命は長くて後2年、手の施しようがないと言われてまいりました。二人の間にしばらく沈黙が続きました。

その沈黙を破って私は彼女にこう尋ねたのです。私に出来ることって何かありますか？彼女はにっこり笑い、頷きながらこう答えたのです。こ

れまでどおり方丈様の追っかけをしてよろしいですか？勿論いいですよ。それともう一つ、私ともうだめだと感じたとき、長男に連絡をさせますので方丈様、私の最後を見届けていただけないでしょうか？

これにも大きく頷いて二人は別れました。それからは以前と変わらぬご様子で清水さんのお寺のお参りは続きました。ひょっとしたら医者のお診察では誤診だったのでは？と思うほどお元気になられたのです。相変わらず追っかけもしてくださいましたがご家族の方が必ず付き添ってこられるようになったのが気がかりでした。

6年前の1月、私は千葉県でお話をさせていただいておりましたがそこにお寺から電話が入ったのです。清水さんがお会いしたいそうです。私はその晩予定されていた私の歓迎晩餐会を途中でご無礼し最終便のフライトで地元に戻りすぐさま病院に駆けつけました。

痩せ衰えた清水さんが私を待っていてくれました。手を握り足をさすって差し上げましたが足の先はもう冷たくなりかけておりました。痛いかい？と訊ねましたら小さく頷きました。痛いはずですが体中にガンが転移していたのですから。何か言い残したいことはございますか？私のその問いかけに彼女は小さく頷きました。

「方丈様、死んだら主人に会えるでしょうか？どうしても逢いたいのです。会えるようにしていただけないでしょうか。」

「分かったよ」、私は答えました。

もう一つございます。実は私の次男の嫁は永年リュウマチで苦しんでまいりました。その嫁の痛みを私が代わりに背負っていけないでしょうか。体中をガンに蝕まれ痛みを耐えている87歳の老人があらたに他人である嫁の痛みさえ背負っていかうというのです。出来ますよ、もちろん出来ますとも。方便としりつつも私はそう答えずにはいられませんでした。すると最後に清水さんは私の顔を見つめながらこう言われたのです。方丈様最後の息はどうついたらよろしいのでしょうか？思っ

ても見なかった質問でした。でも戸惑いは許されませんでした。なぜなら命がけの問いかけだからです。私は清水さんの手をあらためて握りしめこう言ったのです。

サーゆっくりと全ての息を吐いて御覧なさい。吐けないとこまで言ったら今度はゆっくりと吸って御覧なさい。

サーもう一回、ゆっくり吐いて、ゆっくり吸って、ゆっくり吐いて、ゆっくり吸って…清水さん、私は貴女の願いが叶う様に般若心経をお読みするから貴女はこのままの息を続けてちょうだい。私は彼女のために般若心経を読み始めました。清水さんもまた私の言ったとおりの呼吸を続けてくれました。ゆっくりと吐いて、ゆっくり吸って。

ゆっくり吐いて、ゆっくり吸って…何度続いたことでしょうか。ゆっくり吸いながら静かに事切れたのです。私は清水さんの手を握り締めておりました。両の目じりからたまりにたまった涙が溢れ出て参りました。でもその涙は少なくとも悲しみの涙ではないと信じました。なぜなら涙で潤んだ私の目から見ても余りにも穏やかで安らかな顔で永久の眠りにつかれていたのであります。死ぬる直前まで見事にその時、その刹那を生き切った随所に主と足る人生の達人者であられました。

私には尊敬申し上げているロータリアンが何人もいらっしゃいますが、心から信頼申し上げお慕いしているロータリアンがお二人いらっしゃいます。

お一人は元RI会長ヴィチャイ・ラタクルさん、もうお一方が2640地区バスターガバナー、財団の管理委員もお勤めいただいた中島治一郎先生であります。ヴィチャイ元会長は今年88歳になられます。

一昨年早春元会長は私どもの地区大会の会長代理をお勤めいただきました。大会終了後貴方の生まれ故郷をこの目で見たい、そう言われたので2日間鶴岡にお泊りいただきました。雪残る山肌に触れては子供のようにしゃいでおられました。あっという間の2日間が過ぎ去り羽田までお見送りをいたしました。別れ際、私の手をとって元会長は静かにこう言われました。Fuji有難う、

2013 - 14 年度
銚子RC・銚子東RC 合同例会

とっても楽しかった。唯私もそんなに長くはない、後は頼んだよ!!後は頼んだよ、ロータリーの奉仕はあくまでもボトムアップでありI serveを忘れてはなるまいぞというお言葉であったと受け止めさせていただいております。

一方中島先生は私より一回り上のイノシシ、一昨年77の喜寿を迎えました。昨年の初め、私もお陰様で喜寿を迎えました。それを引き際に6月でクラブを退会することに決めました。クラブ理事会は何とか了承してくださいました。貴方にだけはお知らせしておきますが今しばらくは内密に!というメールをいただきました。私を残してロータリーを去られるのですか?とすぐに返信をいたしました。すると先生からごめんなさい!約束をたがえて。でも貴方はまだ若い。私は歳をとりすぎたのです。今のロータリーをそしてこれかた間違はなく歩むであろう私の夢と相容れないこの組織の将来を見届ける勇気がなくなったのです。というメールをいただいて納得せずにはられませんでした。

最近私は1911年The National Rotarianの冒頭にポール・ハリスが書いた「私はロータリーからお互いの欠点を我慢しあう寛容の価値の何るかを学び知ったという」一説をかみ締めております。1951年に制定された現行の綱領から踏み外れた方向に行きかけているロータリーであります。私は出来る限り、1ロータリアンとしてロータリーの行く末を見届けたいと思っております。なぜならこの組織があったから職業奉仕に出会えちゃっぴりですが己を高めさせていただきまし、なによりもヴィチャイ元会長に中島先生にそしてこうして皆様にお会い出来たからであります。その恩に報いることが私に与えられた責務であり随所に主となるロータリアンの道であろうと確信しております。

いただいたお時間がやってまいりました。皆様のクラブの更なるご隆盛をご祈念申し上げ本日のお話を閉じさせていただきます。ご清聴に感謝申し上げます。有難うございました。

点鐘18:30

1月29日(水)会場：太陽の里



〈懇親会〉挨拶

銚子東RC 宮内 博 会長

まず卓話を頂戴いたしました藤川 享胤様大変お疲れ様でした。遠路はるばる山形県鶴岡市より私どもの卓話の為においでくださいまして、感謝申し上げます。

私は以前入会、間もない頃に藤川様がやはり合同例会で銚子にお見えになった時、お話を聞かせていただき、非常に感銘を受けました。未だにその時の情景が浮かんできます。その藤川様から、再び素晴らしいお話をお聞きし、本日が私にとって貴重な日となりました。有難うございました。藤川様におかれましては健康にご留意頂き、これからも益々ご活躍されますことをお祈りします。本日はごゆっくりと銚子の酒と魚を味わってください。

そして本日の合同例会を主催して頂きました銚子ロータリークラブの皆様へ感謝申し上げます。とても素晴らしい合同例会となりました。

また、去る1月22,23日の故石上明宏君の葬儀に際し沢山の銚子ロータリークラブのメンバーに弔問頂き、有難うございました。本人もさぞ喜んでいいる事と思えます。石上君が欠けたことは銚子東ロータリークラブにとって大変な損失であります。新たな気持ちでクラブの組織固めをしていきたいと思えます。銚子ロータリークラブとは切っても切れない密接な関係でありますので今後とも

協力関係を堅持させ、お互いのクラブにとって相乗効果となるような活動をして行きたいと思いません。今後とも宜しくお願いいたします。

私の任期も後5ヶ月となりましたが、銚子ロータリーの皆様には大変お世話になっております。残りの任期も引き続き宜しくお願いします。

さて、第2部は懇親会ですので、大いに飲んで食べて語る楽しい夜にしたいと思います。皆さん宜しくお願いします。

最後になりますが、2014年が皆様にとって素晴らしい年となりますようご祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。



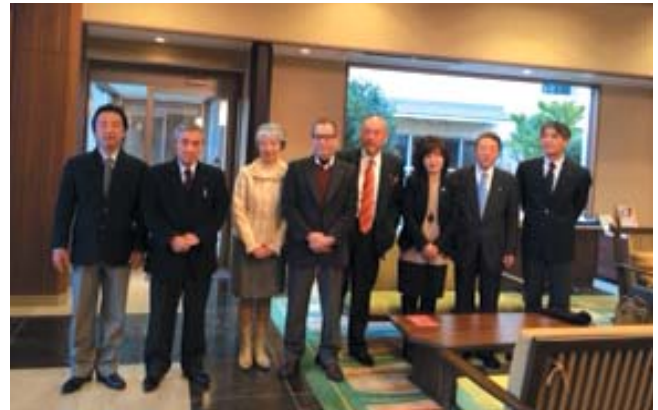
乾杯の発声は

銚子東RC 石井哲也会長エレクト





銚子RC 最高・最強? の女性陣と一緒に



織田パストガバナー夫妻を囲んで



手に手つないで!!



閉会挨拶
信太秀紀 会長エレクト

【出席報告】

合同例会恒例により 100%出席

【M U】

1/23 東京神田RC
金島君・宮内(秀)君・宮内(龍)君
高橋君

1/24 分区会長幹事会
宮内(秀)君

1/27 地区職業奉仕講演会
宮内(榮)君・佐藤君・信太君
島田君・高木君

【ニコニコ】

移動例会のためなし

次回のプログラム(2月12日)

「看護学部について」

千葉科学大学 看護学部長

池 邊 敏 子 様

お弁当：黄鶴(中華)